

**「みどり」と「イノベーション」が融合した未来都市グラングリーン大阪に新拠点****リージャス最高級フレキシブルオフィス ブランド『Signature』 2026年1月開業予定**

三菱地所グループの日本リージャス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西岡真吾、以下リージャス）は、三菱地所を代表企業として開発が進められている「グラングリーン大阪」に、2026年1月リージャスの最上級フレキシブルオフィスブランド「Signature グラングリーンゲートタワー」を開業します。

「グラングリーン大阪」は、“関西最後の一等地”とも呼ばれる「うめきたエリア」に位置しています。JR大阪駅をはじめ、阪急大阪梅田駅、阪神大阪梅田駅、大阪メトロ御堂筋線梅田駅など7駅14路線が利用できる、関西でも屈指の交通利便性を誇るエリアです。2023年春には新たな地下ホーム「大阪駅（うめきたエリア）」がグラングリーン大阪の玄関口に開業。「関空特急はるか」が停車し、国内外移動の起点となる関西国際空港、大阪国際空港、新大阪駅への移動がよりスムーズになりました。2031年には「なにわ筋線」も開通。南海電鉄との直通も予定しており、中之島エリアや大阪南部からのアクセス性も大きく向上します。大阪から海外へとつながるグローバルシティを代表する、世界的にも稀有なターミナル駅直結の大規模複合施設であり、インバウンドの増加や周辺エリア開発によるさらなる街の活性化が期待できます。

リージャスの新拠点『Signature グラングリーンゲートタワー』が入る「グラングリーン大阪 南館 ゲートタワー」のオフィスロビーは、ホスピタリティーの高さや、落ち着き・気品が感じられる空間となっています。駅からも近く、来客が多いビジネススタイルにマッチします。

また、ゲートタワーは、約480坪の無柱空間によって、効率的なワークスペースはもちろん、公園ビューを活かした開放感のあるスペースになっており、コミュニケーションを活性化させるスペースの実現が可能になっています。さらに、子育て支援施設や公園ビューが楽しめる開放的なラウンジなど、オフィスワーカーの働き方改革を支援するさまざまな施設やサービスが導入されており、多様化する就業者のニーズに応えます。ターミナル駅直結の立地で、広大な都市公園と多彩な機能を享受でき、グラングリーン大阪ならではの新しいワークスタイルの実現が可能です。

**■リージャス最高級フレキシブルオフィス ブランド『Signature』**

「Signature」は、リージャスが提供するサービスの最高級ブランドであり、世界中の主要都市の最もアイコン的なビルに入っています。洗練された「プライベートオフィス」「コワーキングスペース」「ミーティングルーム」を有し、ビジネス成長をサポートする環境が整っています。

国内での「Signature」の急速な需要拡大に伴い、リージャスでは2022年の東京六本木ヒルズ森タワーの開業を皮切りに、2024年には東京日比谷、福岡大名ガーデンシティ、大阪梅田ツインタワーズ・サウスの3拠点開設し、2025年は1月の大阪ダイビル本館の他、年内に複数の「Signature」新規拠点の開設と既存拠点の増床を計画しております。リージャスはフレキシブルオフィスのハイエンドブランド「Signature」を筆頭に、今後も多彩なブランドラインナップとエリアの拡大で、ビジネスへの貢献を一層高めてまいります。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

日本リージャス PR事務局（共同PR内）  
担当：菊池（080-5023-5027）、野島（070-4303-7274）、高橋、小松 MAIL: regus-pr@kyodo-pr.co.jp

## ■『グラングリーン大阪』

グラングリーン大阪は、西日本最大のターミナル駅「JR大阪駅」前に、約45,000平方メートルの面積を誇る都市公園「うめきた公園」、オフィス、ホテル、商業施設、中核機能施設、分譲住宅を有する複合施設です。「“Osaka MIDORI LIFE”の創造」～「みどり」と「イノベーション」の融合～を計画コンセプトに、人々のQOL向上や自己実現の機会創出、企業の新しいサステナブル推進活動やイノベーション創出など、新しい価値を共創するまちとして2024年9月に先行まちびらきを迎えており、2025年3月に南館がグランドオープン予定です。



## ■『Signature グラングリーン ゲートタワー』概要

開設日：2026年1月（予定）

住所：〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町5番54号

グラングリーン大阪 南館 ゲートタワー 7F

アクセス：JR線「大阪駅」直結、阪急電鉄・阪神電鉄「大阪梅田駅」、Osaka Metro各線「梅田駅」、「西梅田駅」、「東梅田駅」、JR線「北新地駅」 \*いずれも地下通路にて利用可能

総面積：約476.70坪

オフィス部屋数：89室

ワークステーション席数：237席

会議室：2室

レンタルオフィスは24時間利用可能（ビジネスラウンジやレンタル会議室などの施設は9:00～18:00まで利用可能）

ホームページ：<https://www.regus-office.jp/osaka-area/signature-daibiru-main/>

※開設日、部屋・座席数は現時点での予定



提供：グラングリーン大阪開発事業者

## 【リージャスについて】

リージャスは、世界120カ国、4,000拠点以上のネットワークを持つ世界最大のワークスペースプロバイダーであるIWG plc（本社：スイス、CEO：Mark Dixon、以下IWG）のビジネスモデルを日本に持ち込み、新しいワークスタイルを日本全国に普及させた、フレキシブルオフィス事業のリーディングカンパニーです。1998年に日本での事業を開始し、2023年2月から三菱地所グループとして更なる成長を目指し、現在までに国内48都市・189拠点にてフレキシブルオフィスを展開しています。

洗練された空間を提供する大人のコワーキング「Signature（シグネチャー）」、創造的なコラボレーションを実現する「SPACES（スペースズ）」、上質なワークスペース、多彩なロケーション、柔軟なプランを提供する「Regus（リージャス）」、働くをもっとシンプルにを目指したコンパクトで機能的な「Openoffice（オープンオフィス）」の4つのブランドを運営することで、多様なお客様のニーズにフィットするフレキシブルオフィスソリューションを提供しています。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

日本リージャス PR事務局（共同PR内）

担当：菊池（080-5023-5027）、野島（070-4303-7274）、高橋、小松 MAIL: [regus-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:regus-pr@kyodo-pr.co.jp)

## “フレキシブルオフィス”とは…

- ✓ 「レンタルオフィス／シェアオフィス／ワーキングスペース／貸し会議室」など、従来型の賃貸借オフィスから進化した新しいオフィス環境の総称を指します。現代のハイブリットワークを支える場として、世の中のフレキシブルオフィス事業は時代の変革とともに成長してきました。
- ✓ リージャスが展開するフレキシブルオフィスのサービスは、一般の賃貸借型の事務所と異なり、目的に応じた空間や契約プランを選びやすく、最適なコストパフォーマンスでスピーディに利用を開始できます。また、ビジネスの成長や変化に合わせてオフィス環境を構築・修正しやすいことも魅力のひとつです。



## 会社概要

社名：日本リージャス株式会社

本社所在地：〒163-1030 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号  
新宿パークタワー30階

代表者名：西岡真吾

事業内容：フレキシブルオフィスの管理、運営。

公式サイト：<https://www.regus-office.jp>

Regus™

SPACES.

Signature

Openoffice

## 【本件に関するお問い合わせ先】

日本リージャス PR事務局（共同PR内）  
担当：菊池（080-5023-5027）、野島（070-4303-7274）、高橋、小松 MAIL: regus-pr@kyodo-pr.co.jp